



平成 30 年 7 月 30 日

塩竈市観光振興ビジョン かわら版 vol. 2

【観光振興ビジョン】の現状報告！

平成 30 年 5 月 30 日にビジョン勉強会を開催してからの経過報告をお伝えします。

前回、金子 和夫先生からはビジョンのアクションプランを進める上で、新しい人との繋がりやコミュニティの必要性、自分事として常に問題意識を持つことの大切さなどのアドバイスをいただきました。そこから、シンポジウムに登壇したコアメンバーと下記の話し合いを進めています。

門前町の活性化のため尽力してきた団体「本町通りまちづくり研究会」と「ビジョン」を共有 (H30.7.3)

本町通りまちづくり研究会が主催の「くるくる談議」のように“気軽にまちのことを話し合える場”を作ることで柔軟な意見交換が出来ないかと考えました。そこで、アクションプラン「4つの拠点」の一つである門前町地区で活動する「本町通りまちづくり研究会」役員会に参加し、意見交換を行いました。

【主な意見交換の内容】

まち研) まち研のこれまでの活動として、各種のイベントを行ってきた。毎年8月に開催してきた「くるくる談議」は、当初、まちづくりについて意見交換する場として企画したが、なかなか本来の趣旨を達成できていなかったため、やり方を変えることを考えていた。

まち研) ビジョンができたことを嬉しく思うし、関われる機会があるなら幸いに思う。

まち研) 本町の「ブランディング」がまさにまち研の夢だったと思う。

まち研) ビジョンを勉強することから始めたい。勉強会を開催しまち研以外にも広く声をかけて多くの人に聞いてもらい、終わったら酒を酌み交わしながら語り合うなどしたい。

ビジョン) 行政にバックアップしてもらうことが必要だが、行政に頼らないでやるという考えが必要。

まち研) 気持ちとしては自主的にやらなければならないということはわかってはいる。しかし、現状として高齢化や担い手不足は重い課題。

塩竈市観光振興ビジョンコアメンバー会議開催 (H30.7.20)

本町通りまちづくり研究会は、ビジョンの勉強会をしたいと考えており、金子 和夫先生も協力してくれる予定となったことから話し合いを行いました。

【主な意見内容】

- ・やるなら多くの方を巻き込めるようにしたい(各団体・町内会など)。
- ・今回のイベントのゴール目的) はやる気のある人を見つける、顔合わせをすることとしたい。

本町通りまちづくり研究会役員会に参加（H30.7.24）

勉強会について、コアメンバー会議で話し合った内容を提案し意見交換を行いました。

【結果】事業概要を下記のとおり決定した。

○タイトル「みんなくるくる談義 ～これからのまちづくりを考える～」

○日時 平成30年9月7日（金）18:15～20:30

○会場 杉村惇美術館 大講堂

プログラム

●第1部

- ・塩竈市観光振興ビジョンについて（15分）
- ・観光モデルルートについて（15分）
- ・本町通りまちづくり研究会の活動報告（15分）
- ・講演 金子和夫先生（60分）

●第2部

- ・懇談会 会費 1,000円（飲み物付）

【主な意見交換の内容】

ビジョン) この会合の目的はいろいろな方にお声をかけ、集まった人たちの「顔合わせ」をゴールとして取り組みたい。

まち研) 本町にこだわらず、塩竈というエリアで考えていきたい。

ビジョン) 人の繋がりから個別に声掛けして参加者を集めたい。

まち研) 商店だけではなく声をかける範囲を飲食店にひろげると結構ある。職人さんも参画してもらったらおもしろい。

◆次回、コアメンバー会議(※)が8月6日（月）にあります。皆さんの意見やアイデアをFAX・電話・メールなどで教えて下さい。

TOPICS

airbnb社が民泊モデルケース実施場所として「塩竈」を選定してくれました。なんと全国で3か所（東京・京都・塩竈）だけで、現在は実施に向け検討がすすめられています。

住宅宿泊事業法(民泊新法)とは？

国内外からの観光旅客の宿泊需要とニーズの多様化に対応するため、既存の住宅を活用する宿泊事業について、一定のルールを定め、健全な民泊サービスの普及を図るものとして新たに制定された法律です。旅館業法と区別され、年間営業日数は180日以内となります。

（平成30年6月15日施行）。

(※)ビジョンの集まり名については、【塩竈市観光振興ビジョン推進委員会(通称：SKV)】とするので、みなさん親しみをもって呼んでください♪

発行：塩竈市観光交流課 人・まち交流係

住所：〒985-0052

塩竈市本町1-1 壺番館2階

電話：022-364-1165

FAX：022-364-1169